

2026年度 大学院学生募集要項

〔医学研究科〕

- ◆博士課程 医学専攻
- ◆専門職学位課程 公衆衛生学専攻



国際医療福祉大学大学院

目次

はじめに

- アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・ P. 2
- 出願準備から入学までの流れ・・・・・・・・・・ P. 4

入試情報

■ 博士課程 医学専攻

- 事前相談について・・・・・・・・・・ P. 5
 - 1. 窓口担当教員との事前相談・・・・・・・・・・ P. 5
 - 2. その他・・・・・・・・・・ P. 5
- 募集専攻・分野・指導領域一覧・・・・・・・・・・ P. 5
 - 3. 募集人員・・・・・・・・・・ P. 6
 - 4. 取得できる学位・・・・・・・・・・ P. 6
 - 5. 修業年限・・・・・・・・・・ P. 6
 - 6. 受講地・・・・・・・・・・ P. 6
 - 7. 出願資格・・・・・・・・・・ P. 6
 - 8. 出願上の注意・・・・・・・・・・ P. 7
 - 9. 入試日程・試験場・・・・・・・・・・ P. 7
 - 10. 選抜方法・・・・・・・・・・ P. 8
 - 11. 出願書類・・・・・・・・・・ P. 8
 - 12. 入学検定料・・・・・・・・・・ P. 9
 - 13. 学生納付金・・・・・・・・・・ P. 9
 - 14. 医学研究科奨学生制度について・・・・・・・・・・ P. 10
 - 15. 私費外国人留学生への授業料減免制度について・・・・・・・・ P. 10
 - 16. 共通事項、その他・・・・・・・・・・ P. 10

■ 専門職学位課程 公衆衛生学専攻

- 事前相談について・・・・・・・・・・ P. 11
 - 1. 窓口担当教員との事前相談・・・・・・・・・・ P. 11
 - 2. その他・・・・・・・・・・ P. 11
 - 3. 募集人員・・・・・・・・・・ P. 12
 - 4. 取得できる学位・・・・・・・・・・ P. 12
 - 5. 修業年限・・・・・・・・・・ P. 12
 - 6. 受講地・・・・・・・・・・ P. 12
 - 7. 出願資格・・・・・・・・・・ P. 12
 - 8. 出願上の注意・・・・・・・・・・ P. 13
 - 9. 入試日程・試験場・・・・・・・・・・ P. 14
 - 10. 選抜方法・・・・・・・・・・ P. 14
 - 11. 出願書類・・・・・・・・・・ P. 15
 - 12. 入学検定料・・・・・・・・・・ P. 16
 - 13. 学生納付金・・・・・・・・・・ P. 16
 - 14. 医学研究科奨学生制度について・・・・・・・・・・ P. 17
 - 15. 私費外国人留学生への授業料減免制度について・・・・・・・・ P. 17
 - 16. インターンシップ（選択科目）について・・・・・・・・ P. 17
 - 17. 共通事項、その他・・・・・・・・・・ P. 17

共通事項

- 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン・・・ P. 18
- 出願・受験・入学手続
 - 出願上の留意事項・・・・・・・・・・ P. 19
 - 感染症に関する注意事項・・・・・・・・・・ P. 19
 - 身体等に障害のある志願者について・・・・・・・・ P. 19
 - 入学検定料の納入方法・・・・・・・・・・ P. 19
 - 受験上の注意・・・・・・・・・・ P. 20
 - 合格発表・・・・・・・・・・ P. 20
 - 入学手続・・・・・・・・・・ P. 20
 - 留学生の入学手続・・・・・・・・・・ P. 20
 - 在留資格認定証明書交付申請について・・・・・・・・ P. 20
 - 入学辞退・・・・・・・・・・ P. 20
 - 長期履修について・・・・・・・・・・ P. 21
 - 奨学金・・・・・・・・・・ P. 22
 - 修学資金・学資ローン・・・・・・・・・・ P. 22
 - 個人情報の取り扱いについて・・・・・・・・・・ P. 22
 - 教育充実基金（寄付金）のお願い・・・・・・・・ P. 22
 - 専門実践教育訓練給付について（公衆衛生学専攻）・・・ P. 22
- 志願票等の記入方法
 - 志願票・・・・・・・・・・ P. 23
 - 留学生個人票・・・・・・・・・・ P. 25
- キャンパスの所在地と連絡先・・・・・・・・・・ P. 26
- 入学・卒業年度早見表

【本学大学院の教育理念】

国際医療福祉大学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念（人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営）とを掲げ、病む人も、障害のある人も、元気な人も、互いに互いを尊敬しあいながら「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行っている。

国際医療福祉大学大学院（以下「本大学院」という。）は、上記の基本理念と教育理念とを踏まえながら、学校教育法が大学院の目的として「高度の専門性が求められる職業についてそれを担うための深い学識と卓越した能力を培うこと」及び「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめること」の2つを掲げていることを念頭に置いて、保健医療福祉分野において、特に国際性を身につけた指導的な専門職業人を養成することを目指している。

とくに修士課程では、「保健医療福祉の分野において他分野を理解し、連携することのできる高度専門職または研究職」を育成することをめざし、博士課程では、「保健医療福祉の分野において高度な研究能力を有し指導者的役割を果たすことのできる人材」を育成することを目指している。

本大学院教育は以上の趣旨を踏まえ、この目標を達成するため、以下に示す大学院における4つの教育理念を掲げる。

1. 専門性：修士課程では、大学を卒業した保健・医療・福祉分野の専門職またはこれに準じる人々に高度かつ先進的な専門教育の場を提供することにより、高度専門職を養成する。また博士課程の学生、および修士課程でも研究者を志す学生には、徹底した研究指導を行う。
2. 学際性：種々の領域の講義を聴講できる、あるいは他領域の教員や学生と討論を行うことができる場の提供により、保健・医療・福祉分野の幅広い視野を持つ専門職の養成に努める。
3. 学術性：各教員が、日進月歩する保健・医療・福祉の高度化・専門分化に対応した教育と研究の推進に努める。
4. 利便性：働きながらでも学修できる授業時間割編成、同時双方向遠隔授業やeラーニングなど多様なメディア授業を高度に利用した授業の導入などにより、従来なら時間的、空間的制約のため大学院教育を受けられなかった社会人に対して大学院教育の門戸を開く。

近年、わが国の保健医療福祉は、内容的にも社会制度的にも大きな変革を重ねてきており、この変革を国際的な視野に立ってより良く担う実践家及び教育・研究者を育てることへの需要が増してきている。

従って本大学院は、多様化する保健医療福祉分野の需要に対応できる、国際性を身につけた、指導的な専門職業人の養成を実現すべく、年齢を問わず、また学生であるか社会人であるかを問わず、生涯にわたって学習の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。

【国際医療福祉大学大学院アドミッション・ポリシー】

大学の基本理念・教育理念および大学院の教育理念をふまえて、本大学院が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

1. 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有していること。そのための豊かで幅広い人間性と高い倫理的責任感を有し、生命の尊厳を尊重できる感性を有すること。
2. 保健・医療・福祉の専門分野でトレーニングを受けるための基礎知識を有し、研究や実践を通じて自らの能力を活かそうとする強い意欲と積極性を有すること。
3. 大学院の勉学における自らの目的を明確に意識していること。すなわち保健・医療・福祉分野における課題への追求意欲を持ち、自己啓発に積極的であること。
4. 個別的な知識を統合し、科学的エビデンスを分析できる

論理的思考力を持ち、実践家又は教育・研究者としての自立性を志向する者であること。

5. 保健・医療・福祉の発展に寄与する意欲を有し、生涯にわたり専門職としての社会への貢献と後進の指導を行うことを目指していること。
6. 志望分野が特定の要件を要求する場合、それを満たしていること。

医学研究科が入学者に求める学生像は、大学院が入学者に求める要件をふまえ以下のとおりである。

●医学研究科

医学研究科では、医学の分野における高度な研究能力を備え、また高度な専門技術の実践を担う人材を育成することを目的としており、入学者に求める学生像は、以下のとおりである。

- 1) 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、高い倫理観を持って医学研究者または高度専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有する者であること。
- 2) 医学・生命科学分野の先端研究を国際的に推進する意欲と語学能力を有しており、高度な修練実施により医学または医療上の問題に対して積極的に取り組む意欲を示す者であること。
- 3) 医学研究者または高度専門職業人としての自立性を志向する者であること。すなわち果敢に挑戦する獨創性と創造力で、大きく変貌を遂げる医学・医療の未来を担う意欲を示す者であること。
- 4) 多様化する医学・医療の需要に指導的立場で対応できる医学研究者または高度専門職業人を目指し、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を有する者であること。

各専攻では入学選考において、以下の点が問われる。

【医学専攻（博士課程）】

国際的に活躍できる医学研究者、および専門医や行政官等、博士号を取得し高度専門職業人を目指す者を求めている。

基礎医学研究分野では、科学的な仮説を設定し、実験により証明して新たな知識を創造するというプロセスの重要性を理解する者、学習・研究活動を通じて単に業績をあげることに留まらず、独立した研究者になるための基盤を身につけることに意欲を示す者を求めている。また、国際的な研究者を目指し、診療現場の疑問を科学的に解決する「トランスレーショナル・リサーチ」の実現を目指す者を求めている。

社会医学研究分野では、国際社会・地域社会の健康増進、保健福祉の向上、医学教育の発展などに貢献できる研究者を目指し、予防医学や公衆衛生学の視点で、統計学や医療情報学などの手法を習得することを目指す意欲を有する者を求めている。また、基礎医学、臨床医学とも強く連携しながら社会医学研究の発展を目指し、世界の第一線で活躍する意欲を示す者を求めている。

臨床医学研究分野では、臨床での疑問から経験や症例を増やし、国内外との比較など臨床研究の発展に貢献する意欲を有する者、細胞生物学、分子生物学などの新知見や、遺伝細胞工学、再生医療などの新技術を取り入れた先進的臨床研究を行なう専門家を目指そうとする意欲を有する者を求めている。

『大学院の入学選抜方針と基準』

1. 入試区分は以下のとおりである。

- 1) 一般入試：各専攻・分野の出願基準を満たしていれば、誰でも出願できる。
- 2) 社会人入試：一般入試の出願資格を満たし、かつ各分野が指定する年数以上の職務経験がある者などを対象として施行する。
- 3) 留学生入試：本大学院へ出願資格を満たし、入学時

で「留学」の在留資格が得られる日本以外の国籍を有する者を対象として施行する。

- 4) 学内推薦入試：国際医療福祉大学卒業（見込）者、国際医療福祉大学大学院修了（見込）者を対象として施行する。分野・専攻によっては一部の入試区分を用いて入試を実施する。その要項については別に定める。

2. 出願資格は原則として以下のとおりである。

- 1) 修士課程においては、4年制大学を卒業した（卒業見込みを含む）あるいは学士の学位を授与された（授与見込みを含む）者、または入学時点で満22歳以上であり本大学院による出願資格審査において4年制大学を卒業同等以上と認められた者。
- 2) 博士課程においては、医療福祉学研究科では修士の学位または専門職学位を取得した者（取得見込みを含む）、薬学研究科では薬学部を卒業した者（卒業見込みを含む）、医学研究科では修士の学位を取得した者（取得見込みを含む）または6年制の課程（医学、歯学、獣医学、薬学）を卒業した者（卒業見込みを含む）。

出願資格の詳細については別に定める。なお、志望分野が特定の要件を要求する場合、それを満たしている必要がある。

3. 選抜方法は以下のとおりである。

- 1) 分野・専攻によってそれぞれ試験日および試験場（キャンパス）を設定して入試を実施する。
- 2) 試験は学力、人物などを総合的に評価して実施する。その要項については別に定める。

【公衆衛生学専攻（専門職学位課程）】

1. 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志をもつ者であること。
2. 大学院での専門能力獲得の意欲とそれに必要な基礎的知識及び語学能力を有しており、さらに本大学院で国際性を身につけ、国内外の医学・公衆衛生学上の問題に対して積極的に取り組み、保健、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志をもつ者であること。
3. 実践家または教育・研究者としての自立性を志向する者であること。
4. 多様化する公衆衛生分野の需要に対応できる指導的な専門職業人を目指し、本大学院において大学院教育を受けたい者であること。

また、各分野では、入学者選考において、以下の点が問われる。

国際保健・感染症学分野では、医療の国際化に伴う国内外の医療現場などで起こり得る各種の課題解決に取り組み、国際的な政策提言に意欲を示す者、また、感染症の状況を世界的な視野で捉え、医療現場において感染症のコントロールに参画でき、専門的立場からアドバイスを与えられることを目指す者を求めている。

医療福祉政策・管理学分野では、超高齢者社会を見据え、医療・福祉・介護政策の現状と課題を理解しながら解決策を打ち出せることを目指す者、また、システム科学・情報科学の知識を基盤にして、日々専門化・複雑化が進む医療福祉の分野で、データを収集・解析し、フィードバックあるいはストラテジーを立案できることを目指す者を求めている。

疫学・社会予防医学分野は、臨床試験に不可欠な統計学、医学研究のデザイン等に役立つ疫学、薬剤疫学など、医療全般でのデータ解析・評価ができる専門家を目指す意欲のある者、母子保健、老人保健、産業衛生など医学・公衆衛生上の諸問題に適切に対処し、課題を解決することに意欲を有する者を求めている。特に健康予防医学では、健診医学に関連したデータ分析から有用な健診・検診方法を習得・研究し、人間ドック運営や健診事業の政策などヘルスプロモーションに積極的にかかわる意欲を有する者を求めている。

『大学院の入学者選抜方針と基準』

1. 入試区分は以下のとおりである。

- 1) 一般入試：各専攻・分野の出願基準を満たしていれば、誰でも出願できる。
- 2) 留学生入試：本大学院への出願資格を満たし、入学時までに「留学」の在留資格が得られる日本以外の国籍を有する者を対象として施行する。

2. 出願資格は原則として以下のとおりである。

- 1) 修士課程においては、4年制大学を卒業した（卒業見込みを含む）あるいは学士の学位を授与された（授与見込みを含む）者、または入学時点で満22歳以上であり本大学院による出願資格審査において4年制大学を卒業同等以上と認められた者。

出願資格の詳細については別に定める。なお、志望分野が特定の要件を要求する場合、それを満たしている必要がある。

3. 選抜方法は以下のとおりである。

- 1) 分野・専攻によってそれぞれ試験日および試験場（キャンパス）を設定して入試を実施する。
- 2) 試験は学力、人物などを総合的に評価して実施する。その要項については別に定める。

1

出願資格および選抜方法を確認する

→P.6~10、→P.12~17

○P.6~10、P.12~17を参考に出願資格を確認し、出願する入試区分、および選抜方法等をよく確認してください。

<入試区分について>

一般入試：出願資格を満たしていれば、どなたでも出願できる入試です。

留学生入試：出願資格を満たし、入学時までに「留学」の在留資格が得られる日本以外の国籍を有する方を対象とした入試です。

学内推薦入試：国際医療福祉大学医学部卒業（見込）者を対象とした入試です。

※博士課程医学専攻の出願資格(8)、専門職学位課程公衆衛生学専攻の出願資格(10)で出願しようとする場合は、所定の期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室に問い合わせること。

2

事前相談を行う（出願資格審査）

→P.5、7、→P.11、13

○分野ごとに決められている窓口担当教員に連絡し、紹介された研究指導教員と事前相談を行ってください。

※公衆衛生学専攻で出願資格審査を要する方は、ここで審査を行います。

3

出願書類を準備する（所定用紙はホームページよりダウンロード）

→P.6~10、→P.12~17、→P.23~25

○「出願書類」の項目を参考にし、出願書類を不足なく準備してください。

※志願票を記入する際は、P.23~25志願票等の記入方法を参照してください。

○志望する分野、入試区分、出願資格によって出願書類が異なる場合がありますので、注意してください。

○作成・取り寄せに時間がかかる書類もありますので、早めに準備してください。

※志願票等の所定用紙は本学ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>）からダウンロードし、A4縦の用紙に印刷してご利用ください。

4

入学検定料を納入する

→P.19

○出願書類を送付する前に、入学検定料を納入してください。

○詳細はP.19を参照してください。

5

出願書類を提出する

→P.20

○出願書類を準備し、必要書類が全て揃ったら、本学東京赤坂キャンパス入試事務室の宛先を明記した封筒で提出してください。

（出願資格審査にて出願の許可を得た方は出願書類とともに、必要な書類を提出してください。）

6

試験日について

→P.7、→P.14

○募集要項上で決められた試験日に試験を実施します。

○出願書類はできる限り早い時期に余裕を持って提出してください。

7

受験票を受け取る

○試験日や試験場を記載した受験票を本学東京赤坂キャンパス入試事務室から送付します。受験票の記載事項に誤りがないか必ず確認してください。

8

入学試験

→P.6~10、→P.12~17

○試験科目、選抜方法については「選抜方法」の項目を参照し、指定された科目を受験してください。

9

合格発表・入学手続

→P.20

○合格発表および入学手続についてはP.20を参照してください。合格者には合格通知書とともに入学手続書類を郵送します。入学手続締切日までに「学生納付金」を納入の上、入学手続書類を郵送してください。入学手続完了者には、入学手続期間終了後、入学許可証を発行します。

10

入学（4月）

○入学手続完了者には、3月末頃に、入学式およびオリエンテーション等の案内をお知らせします。

1. 窓口担当教員との事前相談

分野ごとの相談窓口は以下の通りです。出願前に、必ず事前相談を行ってください。

博士課程 医学専攻

<連絡先> E-mail: dph@ihwg.jp

基礎医学研究分野：潮見 隆之（しおみ たかゆき）教授

社会医学研究分野：山崎 力（やまざき つとむ）教授

臨床医学研究分野：伊豫 雅臣（いよ まさおみ）教授

【事前相談の進め方および主な相談内容】

- ① 志願する分野の窓口担当教員に、メールで直接連絡をする。
- ② 本学大学院への進学への意志を伝え、研究テーマや自身で確認したいこと等を窓口担当教員に相談する。
- ③ 窓口担当教員から紹介された研究指導教員と事前相談を行い、出願の許可を得た後、出願書類を提出する。

＜事前相談内容の例＞

- ・大学院で学びたい研究内容やテーマとその研究指導教員の専門領域との一致性
- ・研究指導教員の研究指導方針および方法
- ・研究指導教員の授業時間帯や必要となる出席時間数の目安
- ・他の教員の授業を含めた履修の全体的なイメージ
- ・在職者であれば、勤務と受講の両立の可否

※博士課程医学専攻の出願資格(8)で出願しようとする場合は、出願資格審査の受付期間をP.7で確認の上、事前相談前なるべく早めに東京赤坂キャンパス入試事務室まで問い合わせてください。

※事前相談は随時受け付けていますが、出願期間締切に間に合うように余裕をもって行ってください。

※本学グループ病院に勤務している、もしくは勤務予定の方は、勤務先病院にご相談の上、ご出願ください。

2. その他

以下の相談については研究指導教員以外でも相談に応じます。

○キャンパス事情や受講上の注意事項

各キャンパス事務局（P.26、27【キャンパスの所在地と連絡先】を参照）

○出願書類の記載方法や入学試験全般

東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 FAX：03-5574-3901 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）

募集専攻・分野・指導領域一覧

◆博士課程 医学専攻

| 分野 | 指導領域 | 分野 | 指導領域 |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 基礎医学研究分野 | 生理学 | 臨床医学研究分野 | 小児科学 |
| | 生化学 | | 小児外科学 |
| | 薬理学 | | 整形外科科学 |
| | 免疫学 | | 皮膚科学 |
| | 解剖学 | | リウマチ・膠原病学 |
| | 病理学 | | 形成外科学 |
| 社会医学研究分野 | 法医学 | | リハビリテーション医学 |
| | 感染症学 | | 神経内科学 |
| | 公衆衛生学 | | 精神科学 |
| | 医学教育学 | | 脳神経外科学 |
| | 医療の質・安全学 | | 眼科学 |
| 臨床医学研究分野 | 呼吸器内科学 | | 耳鼻咽喉科学 |
| | 呼吸器外科学 | | 血液内科学 |
| | 循環器内科学 | | 臨床腫瘍学 |
| | 心臓外科学 | | 総合診療学 |
| | 血管外科学 | | 心療内科学 |
| | 消化器内科学 | | 老年病学 |
| | 消化器外科学 | | 麻酔科学 |
| | 腎臓内科学 | | 救急医学 |
| | 泌尿器科学 | 放射線科学 | |
| | 糖尿病・代謝・内分泌学 | 臨床検査医学 | |
| | 産婦人科学 | | |
| | 乳腺外科学 | | |

■博士課程 医学専攻

- ・基礎医学研究分野
- ・社会医学研究分野
- ・臨床医学研究分野

3. 募集人員 20名

4. 取得できる学位 博士（医学）（Doctor of Philosophy (PhD) in Medical Science）

5. 修業年限 4年

6. 受講地 大田原キャンパス、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、熱海キャンパス、福岡キャンパス、大川キャンパス

7. 出願資格 一般入試（社会人を含む）、留学生入試、学内推薦入試を実施する。

<一般入試>

- (1) 大学（6年制の医学部、歯学部、獣医学部、及び薬学の学部）を卒業した者および2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 修士の学位または専門職学位を有する者、および2026年3月末までに修士の学位または専門職学位を得る見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学及び薬学（6年制）の課程）を修了した者および2026年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (6) 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (7) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (8) 上記の(1)～(7)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満24歳以上の者で、本大学院において修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※出願資格(8)で出願しようとする者は、「9. 入試日程・試験場」の出願資格審査受付期間を確認すること。

<留学生入試>

一般入試の出願資格(1)～(8)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者

<学内推薦入試>

国際医療福祉大学医学部を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、次のすべての条件を満たす者

- ・現医学部長が推薦する者
- ・医師国家試験受験資格を有し、医師国家資格を取得見込みの者[※]

※入学時、医師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。

8. 出願上の注意

出願にあたっては、必ず下記の教員に個別に連絡し、事前相談を行うこと。出願の許可を得た後、出願書類を提出すること（なお、出願書類提出後の相談は原則、受け付けないこととする）。

<連絡先> E-mail : dph@ihwg.jp
 ・基礎医学研究分野：潮見 隆之（しおみ たかゆき）教授
 ・社会医学研究分野：山崎 力（やまざき つとむ）教授
 ・臨床医学研究分野：伊豫 雅臣（いよ まさおみ）教授

- 一般入試・留学生入試の志願者は、英語能力を証明する書類（TOEFL、TOEIC、IELTSなどの過去2年以内のスコア）を提出すること（英語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること）。
- 留学生および海外での教育課程修了者のみ、日本語能力を証明する書類を提出すること（日本語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること）。
- 「志願理由書・研究計画書」は英語あるいは日本語で記入すること。
- 一般入試・学内推薦入試の志願者は、志願票の「試験時の言語選択」の欄を必ず記入すること（一般入試・学内推薦入試の志願者で希望する者には、一部英語での面接試験を行う）。
- 留学生入試の志願者は、志願票の「試験時の言語選択」の欄を必ず記入すること（留学生入試は面接試験、専門科目試験とも日本語または英語で行う）。

9. 入試日程・試験場

- 集合時間・集合場所等については、受験票等により通知・連絡する。

| 入試区分 | 第1回 | | 第2回 | | 第3回 | |
|---------------------|-----------------------------------|------------|---------------------------------|------------|---------------------------------|------------|
| | 一般入試・ 留学生入試 | 学内推薦 入試 | 一般入試・ 留学生入試 | 学内推薦 入試 | 一般入試・ 留学生入試 | 学内推薦 入試 |
| 出願期間 【消印有効】 | 2025年9月8日(月)～ 2025年10月10日(金) | | 2025年12月8日(月)～ 2026年1月5日(月) | | 2026年1月13日(火)～ 2026年2月10日(火) | |
| 試験日 | 2025年10月26日(日) | | 2026年1月25日(日) | | 2026年3月1日(日) | |
| 試験場 | 東京赤坂キャンパス | | | | | |
| 合格発表日 (可否通知発送日※) | 2025年10月31日(金) | | 2026年1月30日(金) | | 2026年3月6日(金) | |
| 入学手続期間 【消印有効】 | 2025年10月31日(金)～ 2025年11月14日(金) | | 2026年1月30日(金)～ 2026年2月13日(金) | | 2026年3月6日(金)～ 2026年3月19日(休) | |

※この日に、本学より可否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※特別な事情等により第1回・2回・3回の入試日程で受験できない者は、個別調整の上、試験を実施する場合はあるので、東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）に相談すること。

※なお、一般入試における出願資格(8)で出願しようとする場合は、必ず下記の出願資格審査受付期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

| 入試区分 | 第1回 一般入試 | 第2回 一般入試 | 第3回 一般入試 |
|----------------|-----------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 出願資格審査 受付期間 | 随時受付～ 2025年9月1日(月) | 2025年11月17日(月)～ 2025年12月1日(月) | 2025年12月22日(月)～ 2026年1月6日(火) |

10. 選抜方法

●書類審査と以下の試験を総合して合格を判定します。

| 入試区分 | 試験時間 | | 試験科目 | 備考 |
|--------|------|---------------|----------------------|-----------------------|
| 一般入試 | 入室時間 | 9:45 ~ 10:00 | - | - |
| | 1時限目 | 10:15 ~ 11:15 | 専門科目試験 | 医学に関する基礎学力試験。 |
| | 2時限目 | 11:30 ~ 12:30 | 語学試験(英語) | 辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。 |
| | 3時限目 | 13:00 ~ | 個人面接※ ₁ | - |
| 留学生入試 | 入室時間 | 9:45 ~ 10:00 | - | - |
| | 1時限目 | 10:15 ~ 11:15 | 専門科目試験※ ₂ | 医学に関する基礎学力試験。 |
| | 2時限目 | 11:30 ~ 12:30 | 語学試験(英語) | 辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。 |
| | 3時限目 | 13:00 ~ | 個人面接※ ₃ | - |
| 学内推薦入試 | 入室時間 | 12:30 ~ 12:45 | - | - |
| | 1時限目 | 13:00 ~ | 個人面接※ ₁ | - |

- ※1 一般入試・学内推薦入試の面接試験は、希望する者には一部英語による面接を行う(出願時に選択)。
- ※2 留学生入試の専門科目試験は、出願時に日本語または英語による出題のいずれかを選択して受けることが可能。
- ※3 留学生入試の面接試験は、出願時に日本語または英語による面接のいずれかを選択して受けることが可能(ただし、日本語による面接にも、一部、英語での質疑応答が含まれる)。

11. 出願書類

| | | |
|------|---|--|
| 全員提出 | 志願票 様式1 | P.23、24「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。 <一般入試志願者・学内推薦入試志願者> ・一般入試・学内推薦入試の面接試験は、希望する者には一部英語による面接試験を行う。 志願票 様式1 の「試験時の言語選択」の欄に必ず○を記入すること。 <留学生入試志願者> ・留学生入試は面接試験、専門科目試験とも日本語または英語で行う。 志願票 様式1 の「試験時の言語選択」の欄に必ず○を記入すること。 |
| | 写真 | 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望専攻を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。 |
| | 成績証明書 | 出願資格を満たす大学もしくは大学院の成績証明書・卒業(見込)証明書・修了(見込)証明書を提出すること(いずれも原本またはCertified Copy)。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 |
| | 卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書 | |

| | | |
|---------|--------------------------|--|
| 全員提出 | 志願理由書・研究計画書 様式3 | 所定用紙[様式3]に志願理由を含んだ研究計画を2000字以内で記入すること（文字数に参考文献は含めない）。英語または日本語で記入すること。 ※所定用紙[様式3]を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。 |
| 該当者のみ提出 | 語学能力を証明する書類 | <一般入試志願者・留学生入試志願者> 英語能力を証明する書類（TOEFL、TOEIC、IELTSなどの過去2年以内のスコア） <留学生および海外での教育課程修了者のみ>上記の書類に加え提出すること。 ・日本語能力を証明する書類 ※証明書類はA4サイズにコピーして提出すること。 ※英語能力および日本語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。 |
| | 卒業論文もしくは 修士論文の要旨 | A4縦の用紙に横書き・片面で2枚以内にまとめること。 ※6年制の医学部、歯学部、獣医学部、及び薬学の学部を卒業した者は不要 |
| | 取得資格免許証のコピー | <「医学研究科奨学生制度」を希望する者> 医師国家資格の免許証をA4サイズにコピーして提出すること。 ※詳細はP.10の「14. 医学研究科奨学生制度について」を参照 |
| | 学内推薦入試 推薦書 様式5 | <学内推薦入試志願者（全員）> 所定用紙[様式5]に現医学部長の署名・捺印がされたものを提出すること。 |
| | 研究業績一覧 業務実績一覧 | <研究業績や業務実績がある者（出願資格審査申請者は必須。それ以外の者は任意提出）> これまでの研究業績（論文発表歴・学会発表歴等）や業務実績をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること（タイトルのみの記載でも可）。 |
| | 戸籍抄本等 | <志願票の氏名が、成績証明書等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出すること。 |
| | 留学生個人票 様式2 | <留学生のみ> 所定用紙[様式2]を使用すること。記入にあたってはP.25「志願票等の記入方法」を参照すること。 |
| | パスポートのコピー | <留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。 |
| | 住民票（原本）もしくは 在留カードのコピー | <日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。 |

※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室にご相談ください。

※外国語の証明書類等には日本語訳を添付すること。

※志願票等の所定用紙は、本学ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>）からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。

※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903

E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。

※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。

※電子メディア（CD-ROM、USB等）の提出は不可とする。

※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に東京赤坂キャンパス入試事務室へ申し出ること。

12. 入学検定料 30,000円

P.19共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

13. 学生納付金

- 入学金を納めるのは初年度のみです。2年次以降は入学金を除く学生納付金を毎年次納入してください。
- 学生納付金は原則として一括納入としますが、授業料と施設設備費については入学時と入学後（9月）の2回に分けて納入することもできます（分割納入）。分割納入の場合、2回目納入分は入学後の7月頃に納付書を送付しますので、9月30日までに納入してください（納入額は下表のとおりです）。
- 下記の他に、同窓会費を別途いただきます。
- 入学手続き期間内に、学生納付金を納入し、所定の手続を行わなかった合格者については、入学が認められません。
- 本学学部卒業（見込）生、大学院修了（見込）生については入学金を免除します。
- 本学関連大学・専門学校※卒業（見込）者については入学金を免除します。
- ※ 福岡国際医療福祉大学・国際医療福祉大学塩谷看護専門学校・柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院・大川看護福祉専門学校・福岡医療経営学院の6校。ただし、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校のみ、2010年3月以後の卒業生から入学金免除の対象とします。
- 入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(単位：円)

| 専攻 | 納入方法 | 入学金 | 授業料 | 施設 設備費 | 実習費 | 分割 納入額 | 合計 | 4年間 合計 | |
|--------------|---------|-------|---------|--------------------------|--------------------------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 博士課程 医学専攻 | 一括 | 入学手続時 | 200,000 | 600,000 (1・2・3・4年次共通) | 100,000 (1・2・3・4年次共通) | — | — | 900,000 | 3,000,000 |
| | | 入学手続時 | 200,000 | 300,000 | 50,000 | — | 550,000 | | |
| | 入学後(9月) | — | 300,000 | 50,000 | — | 350,000 | | | |

14. 医学研究科奨学生制度について

以下の分野を志望する医師（※歯科医師・獣医師を除く。日本の医師免許保有者に限らず外国の医師免許保有者も含む。）を対象に授業料の50%相当額の奨学金を給付します（ただし奨学金は各年度の授業料に振り替えます）。

【対象となる分野】

博士課程・・・基礎医学研究分野、社会医学研究分野

● 医学研究科奨学生の資格継続について

医学研究科奨学生の奨学金給付期間は本学大学院学則で定める修業年限とします。ただし、以下の項目のいずれかに該当した場合には、原則としてその後の奨学金給付は行いません。

- ① 本学大学院学則で定める懲戒処分を受けた場合
- ② 前年度の成績が不良の場合
- ③ その他、奨学金給付を継続することが適当でないと大学院長が判断した場合

※私費外国人留学生授業料減免制度と医学研究科奨学生制度の併用はできません。

【医学研究科奨学生 学生納付金】

(単位：円)

| 専攻 | 納入方法 | 入学金 | 授業料 | 施設 設備費 | 実習費 | 分割 納入額 | 初年度 合計 | 4年間 合計 |
|--------------|------|------------------|--------------------------|--------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 博士課程 医学専攻 | 一括 | 入学手続時 200,000 | 300,000 (1・2・3・4年次共通) | 100,000 (1・2・3・4年次共通) | — | — | 600,000 | 1,800,000 |

※医学研究科奨学生入学者は、一括納入のみとする。

15. 私費外国人留学生への授業料減免制度について

入学までに「留学」の在留資格が取得可能な私費外国人留学生で、経済的理由により学生納付金の納入が困難と認められる者は、授業料減免制度（授業料を30%免除）の適用を受けることができます。授業料減免制度の適用条件については以下をご確認ください。

次のいずれかに該当する場合は、経済的理由により学生納付金の納入が困難であると認めます。

- ① 1ヶ月あたりの仕送りの額（入学金、授業料等の学生納付金は除く。）が、平均90,000円以下の場合
- ② 扶養親族と同居している場合は、当該扶養親族の年収が500万円以下の場合

※以下の項目に該当する場合は原則として私費外国人留学生授業料減免制度の適用を受けることができません。

- 1. 国費外国人留学生制度実施要項に定める国費外国人留学生および外国政府の派遣する留学生
- 2. 企業、病院、奨学金団体等により学費が負担される者

※留学生の学生納付金は分割納入とし、入学手続時（2年次以降は3月）は分割納入額を振り込んでいただきます。授業料の減免は、入学後（毎年次6月頃）に申請・審査を行い、審査結果により確定した学生納付金額を8月頃に本人に通知しますので、通知に従って手続を行ってください。

※入学後の成績が不良の場合や、本学が減免措置の継続が適当でないと判断した場合は、減免率の引下げや減免取り消しとなる場合があります。

※私費外国人留学生授業料減免制度と医学研究科奨学生制度の併用はできません。

16. 共通事項、その他

※「国際医療福祉大学大学院 2026年度大学院学生募集要項〔医学研究科〕」や出願書類の所定様式は、国際医療福祉大学大学院ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>）からダウンロードすることができます。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とします。提出する際はA4縦の用紙に印刷して他の出願書類とともに郵送してください。

1. 窓口担当教員との事前相談

相談窓口は以下の通りです。出願前に、必ず事前相談を行ってください。

専門職学位課程 公衆衛生学専攻 <連絡先> E-mail : sph@ihwg.jp
池田 俊也 (いけだ しゅんや) 教授

【事前相談の進め方および主な相談内容】

- ①メールで直接連絡をする。
- ②本学大学院への進学意志を伝え、研究テーマや自身で確認したいこと等を窓口担当教員に相談する。
- ③窓口担当教員から紹介された研究指導教員と事前相談を行い、出願の許可を得た後、出願書類を提出する。

<事前相談内容の例>

- ・大学院で学びたい研究内容やテーマとその研究指導教員の専門領域との一致性
- ・研究指導教員の研究指導方針および方法
- ・研究指導教員の授業時間帯や必要となる出席時間数の目安
- ・他の教員の授業を含めた履修の全体的なイメージ
- ・在職者であれば、勤務と受講の両立の可否
- ・出願資格審査

※出願資格審査を申請する場合は事前相談時に「出願資格審査申請書」を提出してください。

※専門職学位課程公衆衛生学専攻の出願資格(0)で出願しようとする場合は、出願資格審査の受付期間が決まっているので、事前相談前P.14の所定の期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室まで問い合わせてください。

※事前相談は随時受け付けていますが、出願期間締切に間に合うように余裕をもって行ってください。

※本学グループ病院に勤務している、もしくは勤務予定の方は、勤務先病院にご相談の上、ご出願ください。

2. その他

以下の相談については研究指導教員以外でも相談に応じます。

○キャンパス事情や受講上の注意事項

各キャンパス事務局 (P.26、27【キャンパスの所在地と連絡先】を参照)

○出願書類の記載方法や入学試験全般

東京赤坂キャンパス入試事務室 (TEL : 03-5574-3903 FAX : 03-5574-3901 E-mail : daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)

■専門職学位課程 公衆衛生学専攻

- ・国際保健・感染症学分野
- ・疫学・社会予防医学分野
- ・医療福祉政策・管理学分野

3. 募集人員 20名

4. 取得できる学位 公衆衛生学修士（専門職）（Master of Public Health）

5. 修業年限 2年

6. 受講地 東京赤坂キャンパス、成田キャンパス

7. 出願資格 一般入試（社会人を含む）および留学生入試を実施する。

<一般入試>

- (1) 大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了し学士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当するものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者（高度専門士の称号を授与された者、および授与見込みの者）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
※小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭、もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で、2026年4月1日現在満22歳以上の者、等
- (9) 上記(1)～(8)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院による出願資格審査において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（短期大学・専門学校等を卒業した者や、外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院の定める出願資格審査の申請条件に該当する者）
※出願資格(9)で出願しようとする者は、次項出願資格審査の項を確認すること。
- (10) 上記(1)～(9)に該当しない者のうち、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
※出願資格(10)で出願しようとする者は、「9. 入試日程・試験場」の出願資格審査受付期間を確認すること。

<留学生入試>

一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、入学までに出入国管理及び難民認定法において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者

<出願資格審査>

- 一般入試における出願資格(9)で出願しようとする場合は、下記の申請条件を確認の上、出願資格審査を申請すること。

| 専攻 | 申請条件 |
|---------|--|
| 公衆衛生学専攻 | 主に医療福祉に係る専門資格を有する者 ※留学生の場合は、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する |

【申請方法】

「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#)) に記入し事前相談時に提出すること。事前相談を行った後、出願期間中に出願書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#))
- ・「取得資格の免許証のコピー」(A4サイズに統一すること)

※志願票(1枚目)の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【審査方法】

志願者は相談教員へ出願資格(9)出願資格審査で出願する旨を伝え、教員が出願資格の審査を行う。

【審査結果】

出願資格が認められた場合：

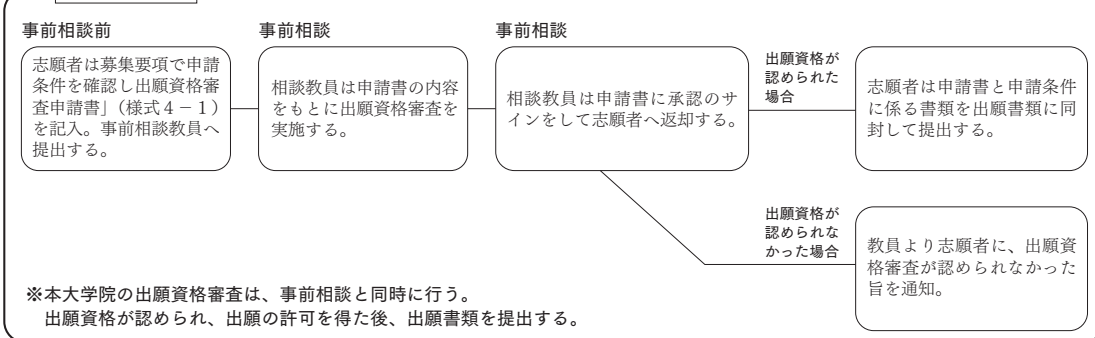
出願の許可(教員のサイン)を得た後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」(教員のサインが入ったもの)
- ・「取得資格の免許証のコピー」等 出願資格に該当する書類(A4サイズに統一すること)

※提出書類は分野により異なるので該当部分を確認すること。

※志願票(1枚目)の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【出願資格審査】手続フローチャート



8. 出願上の注意

出願にあたっては、必ず下記の教員に個別に連絡し、事前相談を行うこと。出願の許可を得た後、出願書類を提出すること(なお、出願書類提出後の相談は原則、受け付けないこととする)。

<連絡先> E-mail : sph@ihwg.jp
池田 俊也 (いけだ しゅんや) 教授

- 全員、英語能力を証明する書類(TOEFL、TOEIC、IELTSなどの過去2年以内のスコア)を提出すること(英語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること)。
- 留学生および海外での教育課程修了者のみ、日本語能力を証明する書類を提出すること(日本語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること)。
- 「志願理由書・研究計画書」は英語あるいは日本語で記入すること。
- 一般入試の志願者は、志願票の「試験時の言語選択」の欄を必ず記入すること(一般入試の志願者で希望する者には、一部英語での面接試験を行う)。
- 留学生入試の志願者は、志願票の「試験時の言語選択」の欄を必ず記入すること(留学生入試は面接試験、専門科目試験とも日本語または英語で行う)。

9. 入試日程・試験場

●集合時間・集合場所等については、受験票等により通知・連絡する。

| 入試区分 | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|---------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| | 一般入試・留学生入試 | 一般入試・留学生入試 | 一般入試・留学生入試 |
| 出願期間 【消印有効】 | 2025年9月8日(月)～ 2025年10月10日(金) | 2025年12月8日(月)～ 2026年1月5日(月) | 2026年1月13日(火)～ 2026年2月10日(火) |
| 試験日 | 2025年10月26日(日) | 2026年1月25日(日) | 2026年3月1日(日) |
| 試験場 | 東京赤坂キャンパス | | |
| 合格発表日 (合否通知発送日※) | 2025年10月31日(金) | 2026年1月30日(金) | 2026年3月6日(金) |
| 入学手続期間 【消印有効】 | 2025年10月31日(金)～ 2025年11月14日(金) | 2026年1月30日(金)～ 2026年2月13日(金) | 2026年3月6日(金)～ 2026年3月19日(休) |

※この日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※特別な事情等により第1回・2回・3回の入試日程で受験できない者は、個別調整の上、試験を実施する場合があるので、東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL:03-5574-3903 E-mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)に相談すること。

※なお、一般入試における出願資格(10)で出願しようとする場合は、必ず下記の出願資格審査受付期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL:03-5574-3903 E-mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)まで問い合わせること。

| 入試区分 | 第1回 一般入試 | 第2回 一般入試 | 第3回 一般入試 |
|----------------|-----------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 出願資格審査 受付期間 | 随時受付～ 2025年9月1日(月) | 2025年11月17日(月)～ 2025年12月1日(月) | 2025年12月22日(月)～ 2026年1月6日(火) |

10. 選抜方法

●書類審査と以下の試験を総合して合否を判定します。

| 入試区分 | 試験時間 | | 試験科目 | 備考 |
|-------|------|-------------|----------------------|----------------------|
| | | | | |
| 一般入試 | 入室時間 | 9:45～10:00 | - | - |
| | 1時限目 | 10:15～11:15 | 専門科目試験 | 医学・公衆衛生学に関する基礎学力試験。 |
| | 2時限目 | 11:30～12:30 | 語学試験(英語) | 辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。 |
| | 3時限目 | 13:00～ | 個人面接※ ₁ | - |
| 留学生入試 | 入室時間 | 9:45～10:00 | - | - |
| | 1時限目 | 10:15～11:15 | 専門科目試験※ ₂ | 医学・公衆衛生学に関する基礎学力試験。 |
| | 2時限目 | 11:30～12:30 | 語学試験(英語) | 辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。 |
| | 3時限目 | 13:00～ | 個人面接※ ₃ | - |

※1 一般入試の面接試験は、希望する者には一部英語による面接を行う(出願時に選択)。

※2 留学生入試の専門科目試験は、出願時に日本語または英語による出題のいずれかを選択して受けることが可能。

※3 留学生入試の面接試験は、出願時に日本語または英語による面接のいずれかを選択して受けることが可能(ただし、日本語による面接にも、一部、英語での質疑応答が含まれる)。

11. 出願書類

| | | |
|------------------|--------------------|--|
| 全 員 提 出 | 志願票 様式1 | P.23、24「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。 <一般入試志願者> ・一般入試の面接試験は、希望する者には一部英語による面接試験を行う。 志願票 様式1 の「試験時の言語選択」の欄に必ず○を記入すること。 <留学生入試志願者> ・留学生入試は面接試験、専門科目試験とも日本語または英語で行う。 志願票 様式1 の「試験時の言語選択」の欄に必ず○を記入すること。 |
| | 写真 | 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望分野を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。 |
| | 成績証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ●出願資格(1)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)に該当する者： 出願資格を満たす大学等の成績証明書・卒業（見込）証明書を提出すること（いずれも原本またはCertified Copy）。 ※通常は学士の学位を取得した大学のもの。編入学・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書も可能な限り提出すること。 ●出願資格(2)に該当する者： 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が証明した「学位授与証明書（原本）」（授与見込の場合は、「学位授与申請受理証明書」を提出すること）、学位授与の対象となった専攻に関する学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ●出願資格(9)に該当する者： 出願資格審査の申請条件に該当する国家資格の受験資格を取得した学校の成績証明書・卒業（見込）証明書（原本）を提出すること。 ※出願資格審査の申請条件が、国家資格の保持でない場合も、必ず最終学歴校の成績証明書・卒業（見込）証明書（原本）を提出すること。 |
| | 卒業（見込）証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ●出願資格(10)による出願の場合： 事前に東京赤坂キャンパス入試事務室と相談の上、指示にしたがって各証明書を提出すること。 ◆上記の学校以外で、医療専門資格の受験資格を取得した者： 上記の学校の成績証明書・卒業（見込）証明書（原本）に加え、医療専門資格の受験資格を取得した教育機関（短期大学・専門学校・各種学校等）の成績証明書・卒業（見込）証明書（原本）も可能な限り提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 |
| | 志願理由書・研究計画書 様式3 | 所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2000字以内で記入すること（文字数に参考文献は含めない）。英語または日本語で記入すること。 ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻・分野および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。 |
| | 語学能力を証明する書類 | 英語能力を証明する書類（TOEFL、TOEIC、IELTSなどの過去2年以内のスコア） <留学生および海外での教育課程修了者のみ> 上記の書類に加え、提出すること ・日本語能力を証明する書類 ※証明書類はA4サイズにコピーして提出すること。 ※英語能力および日本語能力を証明する書類の提出が難しい場合には、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。 |

| | | |
|---------|----------------------|--|
| 該当者のみ提出 | 出願資格審査申請書 様式4-1 | <出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のみ> 所定用紙(様式4-1)に必要事項を記入し、相談教員の許可を得たものを提出すること。 |
| | 取得資格免許証のコピー | <出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者> 出願資格で指定された国家資格の免許証をA4サイズにコピーして提出すること。 <「医学研究科奨学生制度」を希望する者> 医師国家資格の免許証をA4サイズにコピーして提出すること。 ※詳細はP.17の「14. 医学研究科奨学生制度について」を参照 |
| | 研究業績一覧 | <研究業績がある者(任意提出)> これまでの研究業績(学会発表や研究論文等)をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。 |
| | 戸籍抄本等 | <出願時点での氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。 |
| | 留学生個人票 様式2 | <留学生のみ> 所定用紙(様式2)を使用すること。記入にあたってはP.25「志願票等の記入方法」を参照すること。 |
| | パスポートのコピー | <留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。 |
| | 在籍証明書 | <留学生入試志願者(該当者)> 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。 |
| | 住民票(原本)もしくは在留カードのコピー | <日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。 |

※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室にご相談ください。
 ※外国語の証明書等には日本語訳を添付すること。
 ※志願票等の所定用紙は、本学ホームページ(https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/)からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。
 ※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL: 03-5574-3903 E-mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)まで問い合わせること。
 ※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。
 ※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。
 ※電子メディア(CD-ROM、USB等)の提出は不可とする。
 ※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に東京赤坂キャンパス入試事務室へ申し出ること。

12. 入学検定料 30,000円

P.19共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

13. 学生納付金

- 入学金を納めるのは初年度のみです。2年次以降は入学金を除く学生納付金を毎年次納入してください。
- 学生納付金は原則として一括納入としますが、授業料と施設設備費については入学時と入学後(9月)の2回に分けて納入することもできます(分割納入)。分割納入の場合、2回目納入分は入学後の7月頃に納付書を送付しますので、9月30日までに納入してください(納入額は下表のとおりです)。
- インターンシップや各種演習の際の交通費、宿泊費等は自己負担となります。また、同窓会費を別途いただきます。
- 入学時期間内に、学生納付金を納入し、所定の手続を行わなかった合格者については、入学が認められません。
- 本学学部卒業(見込)生、大学院修了(見込)生については入学金を免除します。
- 本学関連大学・専門学校※卒業(見込)者については入学金を免除します。
- ※ 福岡国際医療福祉大学・国際医療福祉大学塩谷看護専門学校・柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院・大川看護福祉専門学校・福岡医療経営学院の6校。ただし、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校のみ、2010年3月以後の卒業生から入学金免除の対象とします。
- 入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(単位:円)

| 専攻 | 納入方法 | 入学金 | 授業料 | 施設設備費 | 実習費 | 分割納入額 | 合計 | 2年間合計 | |
|---------|------|---------|---------|----------------------|----------------------|-------|---------|---------|-----------|
| 公衆衛生学専攻 | 一括 | 入学時 | 200,000 | 600,000 (1・2年次共通) | 100,000 (1・2年次共通) | - | - | 900,000 | 1,600,000 |
| | 分割 | 入学時 | 200,000 | 300,000 | 50,000 | - | 550,000 | | |
| | | 入学後(9月) | - | 300,000 | 50,000 | - | 350,000 | | |

14. 医学研究科奨学生制度について

以下の分野を志望する医師（※歯科医師・獣医師を除く。日本の医師免許保有者に限らず外国の医師免許保有者も含む。）を対象に授業料の50%相当額の奨学金を給付します（ただし奨学金は各年度の授業料に振り替えます）。

【対象となる分野】

専門職学位課程・・・国際保健・感染症学分野、医療福祉政策・管理学分野、疫学・社会予防医学分野

● 医学研究科奨学生の資格継続について

医学研究科奨学生の奨学金給付期間は本学大学院学則で定める修業年限とします。ただし、以下の項目のいずれかに該当した場合には、原則としてその後の奨学金給付は行いません。

- ① 本学大学院学則で定める懲戒処分を受けた場合
- ② 前年度の成績が不良の場合
- ③ その他、奨学金給付を継続することが適当でないと大学院長が判断した場合

※私費外国人留学生授業料減免制度と医学研究科奨学生制度の併用はできません。

【医学研究科奨学生 学生納付金】

（単位：円）

| 専攻 | 納入方法 | 入学金 | 授業料 | 施設設備費 | 実習費 | 分割納入額 | 初年度合計 | 2年間合計 |
|---------|-------------|---------|----------------------|----------------------|-----|-------|---------|-----------|
| 公衆衛生学専攻 | 一括 入学手続時 | 200,000 | 300,000 (1・2年次共通) | 100,000 (1・2年次共通) | — | — | 600,000 | 1,000,000 |

※医学研究科奨学生入学者は、一括納入のみとする。

15. 私費外国人留学生への授業料減免制度について

入学までに「留学」の在留資格が取得可能な私費外国人留学生で、経済的理由により学生納付金の納入が困難と認められる者は、授業料減免制度（授業料を30%免除）の適用を受けることができます。授業料減免制度の適用条件については以下をご確認ください。

次のいずれかに該当する場合は、経済的理由により学生納付金の納入が困難であると認めます。

① 1ヶ月あたりの仕送りの額（入学金、授業料等の学生納付金は除く。）が、平均90,000円以下の場合

② 扶養親族と同居している場合は、当該扶養親族の年収が500万円以下の場合

※以下の項目に該当する場合は原則として私費外国人留学生授業料減免制度の適用を受けることができません。

1. 国費外国人留学生制度実施要項に定める国費外国人留学生および外国政府の派遣する留学生

2. 企業、病院、奨学金団体等により学費が負担される者

※留学生の学生納付金は分割納入とし、入学手続時（2年次以降は3月）は分割納入額を振り込んでいただきます。授業料の減免は、入学後（毎年次6月頃）に申請・審査を行い、審査結果により確定した学生納付金額を8月頃に本人に通知しますので、通知に従って手続を行ってください。

※入学後の成績が不良の場合や、本学が減免措置の継続が適当でないと判断した場合は、減免率の引下げや減免取り消しとなる場合があります。

※私費外国人留学生授業料減免制度と医学研究科奨学生制度の併用はできません。

16. インターンシップ（選択科目）について

公衆衛生分野で国際的に活躍できる人材養成の一環として、世界保健機関西太平洋地域事務所（WHO・WPRO）やアジア開発銀行（ADB）他、国際機関などへのインターン参加を積極的に推奨しています。大学院修学中に本学が認定した機関において2週間インターンシップ（「インターンシップI（基礎）」）に参加した場合、インターン終了後のレポート提出及び発表をもって2単位と認定し、さらに4週間のインターンシップ（「インターンシップII（専門）」）に参加した場合は同様に4単位と認定します。

インターンシップの実施時期や機関については、入学する社会人学生にも配慮し、仕事との両立ができるよう2年間の間で可能な限り柔軟に調整できるようにしています。

17. 共通事項、その他

※「国際医療福祉大学大学院 2026年度大学院学生募集要項 [医学研究科 修士課程 公衆衛生学専攻（専門職学位課程）]」や出願書類の所定様式は、国際医療福祉大学大学院ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>）からダウンロードすることができます。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とします。提出する際はA4縦の用紙に印刷して他の書類とともに郵送してください。

「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」

令和5年6月、本学や東京科学大学を含む連携7大学が共同で取り組む「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」が、文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業として採択されました。本学では、これまでの同事業の成果を継承しつつ、国が定める「第4期がん対策推進基本計画」のもと、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材②がん予防の推進を行う人材③新たな治療法を開発できる人材等のがん専門医療人材を養成するべく連携大学と共に推進しており、修士課程・博士課程にて下記のコースを準備しております。

- ①がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材育成コース
 - 対象者：修士課程
医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、診療情報管理士、理学・作業・言語聴覚療法士、など
 - 修業年限：2年
- ②がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース
 - 対象者：修士課程
医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラーなど
 - 修業年限：2年
- ③がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース
 - 対象者：修士課程
医師、看護師・保健師・歯科医、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、生殖補助医療胚培養師、理学・作業・言語聴覚療法士、社会福祉士・診療情報管理士など
 - 修業年限：2年
- ④がん看護 CNS コース
 - 対象者：看護師・がん看護 CNS コースに在籍している大学院生
 - 修業年限：2年

本学各コースにご参加頂くには、本学大学院修士課程・博士課程等にご入学・ご在籍頂き、履修登録をして頂くことが必要となります。

ご関心のある方は、右記のQRコードから本大学院ホームページをご覧ください。
 ※がん看護 CNS コースは修士課程のみ
 ※博士課程を希望される方は「インテンシブコース修了要件」をご確認ください。



出願上の留意事項

- 出願書類を準備し、出願期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室に郵送してください。なお封筒は市販の角型2号封筒を使用し、封筒の表にダウンロードした「封筒貼付用宛先用紙」を貼付して、郵便局から簡易書留・速達郵便にて送付すること。
- 出願期間を過ぎて提出された出願書類および内容に不備のある出願書類は受理しません。
- 一度受理した出願書類は返却しません。
- 出願書類は入学検定料振込み後、出願期間内に提出してください。
- 外国語の証明書類等には日本語訳または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。
- 出願書類の記載事項と事実と相違があることが判明した場合には、出願受理や合格・入学を取り消すことがあります。
- 働きながら修学する場合は、あらかじめ勤務先とよく相談し、調整しておいてください。
- 本学卒業（見込）者、本大学院修了（見込）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、本学在籍時の学籍番号を記載してください。
- 本学教職員・本学関連施設勤務（予定）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、履歴欄にその旨を記載してください。
- 本学関連大学・専門学校_※卒業（見込）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、履歴欄にその旨を記載してください。

※福岡国際医療福祉大学・国際医療福祉大学塩谷看護専門学校・柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院・大川看護福祉専門学校・福岡医療経営学院

感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等へ感染のおそれがあるため、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験や入学検定料の返還は行いません。

身体等に障害のある志願者について

出願前に東京赤坂キャンパス入試事務室に相談の上、受験に必要とする特別な配慮および修学上の諸注意を確認してください。また、事前相談時に、研究指導教員とも相談してください。なお、試験当日や入学後に個々の状況に応じた配慮を必要とすることがありますので、医師の診断書等を提出していただく場合があります。

入学検定料の納入方法

WEB出願の導入を検討しております。導入後の出願方法変更等のご案内についてはホームページをご確認ください。WEB出願導入までは下記口座へ入学検定料を振込後、出願書類を東京赤坂キャンパス入試事務室まで郵送してください。

- 振込人名の前に必ず分野コードを入力してください。

受験者本人の氏名を入力してください。

入力例（博士課程_臨床医学研究分野を受験する場合）： 4213 コクサイイリョウフクシダイガク

- 入学検定料は全専攻とも、30,000円です。出願書類を送付する前に、必ず入学検定料を納入してください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません（ただし、出願資格審査により出願が認められなかった場合を除きます）。

入学検定料振込先：

足利銀行 大田原支店 普通 3244843 ガク) コクサイイリョウフクシダイガク

専門職学位課程 公衆衛生学専攻

| 分野コード | 分野 |
|-------|--------------|
| 4311 | 国際保健・感染症学分野 |
| 4312 | 医療福祉政策・管理学分野 |
| 4313 | 疫学・社会予防医学分野 |

博士課程 医学専攻

| 分野コード | 分野 |
|-------|----------|
| 4211 | 基礎医学研究分野 |
| 4212 | 社会医学研究分野 |
| 4213 | 臨床医学研究分野 |

受験上の注意

- 入学試験当日は受験票を持参してください。試験場入室の際や試験室内にて確認します。
- 受験票に記載されている集合時間までに試験場へ集合してください。
- 原則として、集合時間から20分以上遅刻した場合は試験を受けることができません。ただし、公共交通機関の遅れが原因で遅刻した場合には、遅延証明書の提出により受験を許可します。
- 試験室には時計が無いことがあります。また試験時間の管理は監督者の時計で行います。
- 試験中、スマートフォン・携帯電話・PHS・音の出る機器等は必ずアラームを解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。身につけて受験することはできません。また時計としての使用も認めません。
- 試験会場内では職員の指示に従ってください。
- 各試験場とも上履きを持参する必要はありません。
- 試験当日利用できる駐車場はありません。
- 出願後から合格発表までの間に住所・電話番号等が変更になった場合には、速やかに変更後の住所・電話番号等を東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡してください。

合格発表

- 可否通知を受験者全員に簡易書留（速達）で郵送します。指定された合格発表日・期間に本学より発送しますので、到着日時は居住地により異なります。
- 試験を欠席した者には通知しません。
- 掲示による合格発表は行いません。
- 電話や電子メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続

- 合格者には合格通知書と入学手続要項・手続書類一式を簡易書留（速達）で郵送します。
- 事前相談をともなう専攻・分野の入試については、全て専願制入試として扱いますので、合格者は入学手続期間内に必ず入学手続を完了してください。
- 入学手続期間内に学生納付金を納入した上で、入学手続書類を提出することにより、入学手続は完了となります。
- 入学手続期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- 入学手続完了者（大学の指定口座への入金を済ませ、書類を提出済の者）には入学手続期間終了後、本学より「入学許可証」を郵送します。
- 入学許可証は入学手続期間終了日から約2週間以内に発送する予定です。
- 出願資格において卒業（修了）見込みあるいは大学改革支援・学位授与機構から学士の学位授与見込みであった者、またその他の出願資格において「見込み」として出願した者は、2026年3月31日までに「卒業（修了）証明書」等の証明書類の提出が必要となります。

留学生の入学手続

- 留学生は、入学手続時に「誓約書・保証書・同意書」が必要になります。
※ 身元保証人は、本人の親、親戚（成人の方）、学費負担者（本人以外）等とし、身分を証明する書類（運転免許証・パスポートの写し等）を「誓約書・保証書・同意書」に添付していただきます。

在留資格認定証明書交付申請について

- 日本国内在住の留学生は、「入学許可証」受領後、各自で入国管理局に在留期間更新・在留資格変更の申請を行ってください（所属キャンパスにより、状況が異なる場合があります）。
- 日本国外在住の留学希望者で本学に入学を希望する場合は、本学にて在留資格認定証明書交付申請を行います。合格通知書と同封する入学手続要項を確認の上、申請に必要な書類等を速やかに提出してください。なお、審査は法務省が行うものであり、不交付となった場合、本学では一切責任を負いかねます。

◇申請に関する問い合わせ先

東京赤坂キャンパス事務部 TEL：03-5574-3900

※2026年3月31日までに「留学」の在留資格が交付されなかった場合、入学が取り消される場合があります。

入学辞退

- 入学手続完了後に、やむを得ない事情で入学を辞退する場合は、「入学辞退届（入学手続要項にしたがって作成したもの）」と「入学許可証」を簡易書留の速達で本学東京赤坂キャンパス入試事務室宛に郵送してください。
- 2026年3月19日(木)17:00までに入学辞退した者については、入学金を除く学生納付金を速やかに返還します。
- やむを得ずこれ以降2026年3月31日(火)17:00までに入学辞退した者についても入学金を除く学生納付金を返還しますが、返還時期は2026年5月以降となります。
- 2026年4月1日(水)以降に入学辞退した者については、いかなる場合も学生納付金は返還しません。
- 電子メールやFAX等による入学辞退は一切受け付けません。
- 詳細は合格通知書と同封する「入学手続要項」で確認してください。

長期履修について

1. 概要

本学大学院学則により、修士課程の標準修業年限は2年間、博士課程の標準修業年限は3年間（医学研究科、薬学研究科博士課程は4年間）と定められていますが、就業上の理由や、家事・出産・育児、また外国において研究、研修を行う等の理由で、学修時間が十分確保できない事情が認められる場合には、修士課程ではあらかじめ3年間、博士課程では4年間（医学研究科、薬学研究科博士課程は5年間）での計画的な長期履修の申請をすることが可能です（但し、修士課程1年修了コースは対象外となります）。

長期履修が許可された場合の学生納付金（授業料、施設設備費、実習費）の額は、標準学修年限については長期履修をしない通常の学生と同額となりますが、以降、長期履修期間満了までの間については、在籍に係る諸経費として1年間の通常の学生納付金の額の10分の1を納付していただきます。

2. 対象

長期履修を申請できるのは、何らかの事情により著しく学修時間の制約を受け、標準修業年限では課程の修了が困難と考えられる方となります。具体的には、外国において研究、研修を行うことがあらかじめ確定している者、職業を有し、就業している者、家事・出産・育児・長期介護等を行う者、その他やむを得ない事情を有すると大学院長が認めた者が対象となります。

なお、留学生は長期履修の申請の対象となりません。

3. 申請

「長期履修申請書」及び「長期履修申請に係る履修計画書」※₁に必要事項を記入し、長期履修が必要であることを証明できる書類を添えて、**出願書類と同封の上、東京赤坂キャンパス入試事務室に提出してください。**なお、申請に際しては、あらかじめ指導予定教員等に履修計画について相談するとともに、申請の了解を得てください。また、長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますので注意してください※₂。

※₁ 申請に必要な書式は、本大学院ホームページからダウンロードできます。（<https://www.uh.ac.jp/daigakuin/>）

※₂ 入学試験合格後、長期履修申請についての審査結果を別途通知します。

4. その他

長期履修とは、長期にわたる計画的な履修をあらかじめ許可するものであり、単位の修得状況や論文等の執筆状況などによって修了が延期となる者（いわゆる留年者）を救済するためのものではありません。また、療養等により一定の期間履修することができない事由が発生した場合については、長期履修ではなく休学の対象となります（休学期間は長期履修期間に算入されませんが、休学期間中の学生納付金は、年次に係らず通常の学生と同額となります）。

<Q & A>

Q 長期履修期間が満了する前に修了要件を満たす見込みとなった場合はどうなりますか？

A 修了要件を満たす見込みが立ち、長期履修期間が満了する前に修了を希望する場合には、変更の許可を受けようとする学年開始の2ヶ月前となる1月末日（通常は修士課程1年次、博士課程2年次〔医学研究科、薬学研究科博士課程3年次〕の1月末日）までに「長期履修期間変更申請書」を提出することで長期履修期間の短縮を申請することができます。ただし、長期履修期間の変更が認められるのは1回のみですので、変更後に何らかの事情により修了できなくなった場合には、その後は通常の学生と同額の学生納付金を納める必要がありますので注意してください。

Q 長期履修期間の中でも修了する見込みが立たなくなった場合、残りの在学年限はどうなりますか？

A 長期履修が認められた場合であっても、通常の課程の学生と同様に原則として修士課程では4年間、博士課程では6年間（医学研究科、薬学研究科博士課程では8年間）を超えて在学することはできません。ただし、当初の修了予定学年開始の2ヶ月前となる1月末日（通常は修士課程2年次、博士課程3年次〔医学研究科、薬学研究科博士課程4年次〕の1月末日）までに「長期履修期間変更申請書」により申請することで、長期履修期間をもう1年間だけ延長することができます※。

※修了予定年次になってからの変更申請はできませんので注意してください。

※この場合の学生納付金の額は、長期履修の3年次と同様、在籍に係る諸経費として1年間の通常の学生納付金の額の10分の1を納付していただきます。

長期履修に関するお問い合わせ

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス入試事務室

TEL：03-5574-3903 FAX：03-5574-3901

E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

奨学金

さまざまな奨学金制度がありますが、奨学金を必要とする大学院生の多くが、日本学生支援機構奨学金を利用しています。その他、自治体や財団の奨学金もありますが、採用にあたり学内選考を行うほか、奨学金を拠出する自治体、財団での選考があります。また各奨学金によって採用条件も異なり、募集が行われないこともあります。

原則、入学後に申請・審査・決定となるため入学前には貸与できません。入学手続き時に必要な学生納付金に充当することはできませんので注意してください。

◇日本学生支援機構奨学金に関する問い合わせ先

ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

◇奨学金に関する問い合わせ先

国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス事務部 TEL：03-5574-3900（土日祝を除く 9：00～17：00）

修学資金・学資ローン

| 名 称 | 制度の内容 | |
|-----------|--|--|
| 学外教育ローン | 国や民間の金融機関で取り扱う教育ローンがあります。詳細は日本政策金融公庫または民間の金融機関で確認してください。 | |
| 大学提携教育ローン | <p>本学では、入学手続き時や授業料の支払い時に、株式会社オリエントコーポレーションまたは株式会社ジャックスと提携した教育ローンをご案内しています。これらは入学金や授業料などの学生納付金を提携会社が本学へ立て替え納付し、学費納入者の方より提携会社へ毎月分割で返済していただく教育ローンです。</p> <p>※本学ホームページ入試情報の「学費」内「学費サポート制度」より、本制度の詳細確認およびWEB申し込みが可能です。</p> <p>※本学の入試を受験する前に事前審査が可能です。</p> | |
| | <p>◇株式会社オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」</p> <p>【問い合わせ先】 株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク TEL：0120-517-325（9：30～17：30）</p> | <p>◇株式会社ジャックス「ジャックスの教育ローン」</p> <p>【問い合わせ先】 株式会社ジャックス コンシューマデスク TEL：0120-338-817（10：00～19：00）</p> |

※審査結果により各ローンのご利用が認められない場合もあります。入学手続き期間内に学生納付金のお振込みができない場合には、入学手続きが完了とならず、入学が認められませんので、ローンのお申し込みは十分余裕をもってお手続きください。

個人情報の取り扱いについて

志願者の氏名、住所、その他の個人情報については、以下の用途にのみ利用し、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。ただし、入学試験の実施や入学に伴う資料の発送等については、本学が個人情報保護における安全管理等を十分に確認した上で、業務委託先へ個人情報を開示・提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、この場合においても、個人情報は本学が明示する用途にのみ使用し、委託した業務内容を超えて利用することはありません。

| |
|---|
| <p><利用目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の実施に伴う利用 ・合格発表および入学手続きに伴う利用 ・入学後の修学関係等に伴う利用 ・入学試験および入学後に行う統計資料の作成 ・その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な場合 |
|---|

教育充実基金（寄付金）のお願い

本学では、高度な教育研究・医療福祉の環境を整備・維持することを目的として、寄付金（任意）のご協力をお願いしています。入学後にご案内いたしますので、ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。詳しくは本学ホームページの「本学へのご支援をお考えの皆様へ（<https://www.iuhw.ac.jp/about/shien/>）」をご確認ください。

※所定の手続きをしていただくことで、税制上の優遇措置を受けることができます。

専門実践教育訓練給付について（公衆衛生学専攻）

こちらの給付金につきましては、本学最初の修了生が輩出される2026年3月以降に該当機関に申請手続きを行い、認可が下りた場合は**2027年度入学者**から給付対象となります。今年度入学の方は**対象外**となりますので、あらかじめご了承ください。

下記の手順に従って記入してください。
記入はすべて黒のペンまたはボールペンを使用してください。

記入上の注意点

◎志願票は2枚組です。本学ホームページからダウンロードをし、記入例を参考にして、漏れのないように記入してください。
(パソコンを使用しての記入も可)

< 1枚目 >

① 氏名、フリガナ、性別、生年月日、出願時の年齢を記入し、写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのもの）を貼付する。
※写真の大きさが違ったり、本人であることが判別しづらい時は、再提出していただく場合がある。

② 出願資格に該当する学歴となる学校名、学部・学科、研究科・専攻名と在学期間を記入し、卒業（見込）・修了（見込）に○をつける。

③ 現職もしくは最終職歴となる勤務先名・部署・職位と在籍期間を記入する（職歴がない場合は未記入）。

④ 本学卒業（見込）者・修了（見込）者、本学教職員、本学附属・関連施設勤務（予定）者、本学関連大学・専門学校※卒業（見込）者は、該当するチェック欄にチェックを入れる。
※本学関連大学・専門学校：福岡国際医療福祉大学、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、柳川リハビリテーション学院、福岡国際医療福祉学院、大川看護福祉専門学校、福岡医療経営学院
・本学卒業（見込）者・修了（見込）者は、大学在籍時の学籍番号も記入すること。
・2枚目の履歴欄にも、その旨を必ず記入すること。

⑤ 入試日程連絡先および受験票等を必ず受領できる送付先の住所等を記入する。
・受験票や合格通知は、原則としてこの住所に郵送する。
・電話番号やE-mailは、入試日程調整等に使用するため、必ず連絡がとれるものを正確に記入すること。
(ハイフン、アンダーバー等分かりやすく記入)

⑥ < 博士課程医学専攻志願者 >
・希望する分野に○をつけ、研究領域を記入してください。
< 専門職学位課程公衆衛生学専攻志願者 >
・希望する分野に○をつけてください。

⑦ 試験時の言語を選択して○をつける。

⑧ 入学後の受講希望地を1つ選択し、○で囲む。

【記入例（1枚目）】

※記入例は、博士課程 医学専攻 臨床医学研究分野 呼吸器内科学領域の場合

| | | | |
|-----------------------|---|--|--|
| 2026年度 | | * 大学院使用欄 (記入不要) | |
| 国際医療福祉大学 大学院 医学研究科志願票 | | 受験番号 | * |
| ① | フリガナ 氏名 | コップク ハナコ 国福 花子 | 性別 男・女 |
| | 生年月日 | 西暦 1980年 4月 19日 | 年齢(出願時) 45才 |
| ② | 出願資格に該当する学歴 | 学校名 学部・学科 研究科・専攻名 | 国福大学 医学部 医学科 |
| | | 在学期間 | 西暦 2000年 4月 ~ 2006年 3月 |
| ③ | 最終職歴 | 勤務先名・部署・職位 | 国際医療福祉大学病院 呼吸器内科医師 |
| | | 在籍期間 | 西暦 2020年 10月 ~ 年 月 |
| ④ | ※該当者のみチェック | <input checked="" type="checkbox"/> 本学卒業(見込)・修了(見込)者 | 本学在籍時の学籍番号 9711001 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 本学教職員、本学附属・関連施設勤務(予定)者 | <input type="checkbox"/> 本学関連専門学校卒業(見込)者 |
| ⑤ | 現住所 (入試日程連絡先・受験票等の送付先) ※正確に記入すること | 〒 324 - 8501 栃木県大田原市北金丸 2600 - 1 TEL: 0287 - 24 - 3200 携帯電話: 090 - 1234 - 5678 E-mail: koppuku-hanako @ iuhw.ac.jp | |
| ⑥ | 課程専攻 | 【分野】希望する分野に○をつけてください | 【領域名】希望する領域を記入してください |
| | | 国際保健・感染症分野 | |
| | 分野領域 | 【分野】希望する分野に○をつけてください | 【研究領域】希望する研究領域を記入してください |
| | | 基礎医学研究分野 社会医学研究分野 <input checked="" type="radio"/> 臨床医学研究分野 | 呼吸器内科学 領域 |
| 1. 事前相談対応者 | 国際 太郎 | | 2. 希望する指導教員 |
| ⑦ | 試験時の言語選択 | 一般入試・学内推薦入試 | 日本語 一部英語 |
| | | 面接試験 ^{※1} | 面接試験 ^{※2} |
| ⑧ | 授業の主たる受講地 | ① 大田原 ② 成田 ③ 東京赤坂 ④ 小田原 ⑤ 熱海 ⑥ 福岡 ⑦ 大川 | |
| ⑨ | 入試区分 | ① 一般入試 ② 留学生入試 ③ 学内推薦入試(医学専攻のみ) | |
| ⑩ | 出願資格 | (1) 募集要項の出願資格①~③を記入すること ※出願資格審査申請 (有・無) | |
| ⑪ | 医療・保健・福祉および語学に関する取得免許・資格 | 名称 医師 | 名称 TOEIC 540点 |
| | | 取得年月 西暦 2006年 3月 取得 | 取得年月 西暦 2020年 5月 取得 |

電話番号/E-mailアドレスは、入試日程調整等に使用しますので必ず連絡がとれるものを正確にご記入ください。
※1 一般入試・学内推薦入試の面接試験は、希望する者には一部英語による面接を行う。試験時の言語を必ず選択すること。
※2 留学生入試志願者は、日本語または英語による面接のいずれかを必ず選択すること。(ただし、日本語による面接にも、一部、英語での質疑応答が含まれる。)
※3 留学生入試志願者の専門科目試験は、英語または日本語による出題。いずれかを必ず選択すること。

⑨ 出願する入試区分の番号を1つ選択し、○で囲む。

⑩ 各分野の該当する出願資格の番号をカッコ内に記入する。
・募集要項の出願資格から、該当する出願資格(1)~(8)の番号を記入。
※出願資格審査を申請する者は、「有」に○を付け、必ず「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙【様式4-1】)と必要書類を提出すること。
大学院への出願資格を有する者は、出願資格審査申請欄の「無」に○を付けること。

⑪ 医療・保健・福祉および語学に関する取得免許や資格の名称・試験スコアと取得年月を記入する。

◎履歴に半年以上の不明の期間があると、受理できませんので、期間に空きのないようにすべてを記入してください。

【記入例（2枚目）】

様式1

| | | |
|------|----------|-------------------------|
| フリガナ | コップク ハナコ | |
| 氏名 | 国福 花子 | *大学院使用欄（記入不要） 受験番号 * |

注意事項

- 高等学校入学以後からの履歴を記入してください。
- 外国籍の者は、小学校入学以後の履歴から記入してください（日本語学校は学歴欄、兵役期間は職歴・活動歴欄に記入）。
- それぞれの履歴については、卒業（見込）・修了（見込）・転学・転入学・中退・退職・在籍等の状況を明確に記入してください。
- 職歴欄には勤務先名、部署、職位を記入してください。
- 本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定の者は、勤務先名を記入してください。新卒等で勤務先が未定の場合は、「本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定」と記入してください。
- 浪人（予備校または自宅学習）、無職、アルバイト、等の期間も記入してください。
- 履歴に半年以上、不明の期間がないように記入してください。履歴に半年以上の不明の期間があると、受理できません。
- 学歴、職歴・活動歴欄が足りない場合は、あらかじめこの用紙をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付してください。
- 期間はすべて西暦で記入してください。

| 履 歴 | | |
|--------------------------------------|---------------------|-----------------------|
| | 期 間（西暦） | 学 校 名 ・ 会 社 名 ・ 職 位 等 |
| ⑬ 学 歴 | 1996年 4月 ~ 1999年 3月 | 栃木県立国福高等学校 卒業 |
| | 1999年 4月 ~ 2000年 3月 | 国福予備校 大田原校にて受験勉強 |
| | 2000年 4月 ~ 2006年 3月 | 国福大学 医学部 医学科 卒業 |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| ⑭ 職 歴 ・ 活 動 歴 等 | 2006年 4月 ~ 2012年 3月 | マロニエ総合病院 医師 |
| | 2012年 4月 ~ 2014年 3月 | 青年海外協力隊にてボリビア国に派遣 |
| | 2015年 4月 ~ 2017年 6月 | 青山クリニック 医師 |
| | 2017年 7月 ~ 2020年 9月 | 専業主婦 |
| | 2020年 10月 ~ 年 月 | 国際医療福祉大学病院 呼吸器内科 医師 |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| | 年 月 ~ 年 月 | |
| 年 月 ~ 年 月 | | |

< 2枚目 >

⑫ 氏名、フリガナを記入する。

⑬ 高等学校入学以後からの学歴を記入する。

- ・それぞれの履歴については、卒業（見込）・修了（見込）・転学・転入学・中退等の状況を明確に記入すること。
- 例：〇〇大学 中退
- ・自宅学習・浪人等の期間も含め、期間に空きがないように記入すること。
- ・欄が足りない場合は、あらかじめ志願票の2枚目をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付すること。

⑭ 職歴（アルバイト含む）・活動歴等を記入する。

- ・勤務先名、部署、職位も記入すること。
- ・出願時点で勤務先が退職・変更になる予定がある場合は、現在の勤務先のうしろに退職予定と記入し、新しい勤務先が決まっている場合は勤務開始予定年月、勤務予定先を記入すること。
- ・本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定の者は、勤務先等を記入。勤務先が未定の場合には、「本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定」と記入すること。
- ・海外での活動歴も、詳しく記入すること。
- ・無職等の期間も含め、期間に空きがないように記入すること。
- ・欄が足りない場合は、あらかじめ志願票の2枚目をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付すること。

〈外国籍を有する者の場合〉

上記の注意事項に加えて、以下も確認してください。

- ⑬ 小学校入学を含む全学歴を正確に記入すること（日本語学校を含む）。
- ⑭ 兵役期間や海外渡航準備期間も含め記入すること。

下記の手順に従って記入してください。
記入は全て黒のペンまたはボールペンを使用し、日本語で明確に記入してください。

日本国外在住の留学希望者が海外から出願書類を郵送する場合は、出願前までに必ず東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡してください。

【記入例】

① 志望する課程、専攻の番号に○をし、志望分野、領域名を記入する。
※専門職学位課程は領域の記入は不要です。

② 性別、国籍を記入する。

③ 氏名をアルファベットでの表記（パスポート上での表記にて大文字で記入）、カタカナでの表記、漢字での表記（漢字名がある場合のみ）で記入する。

④ 日本国内に在住する外国籍の者は現在の在留資格を記入する。
※在留資格および在留期間が確認できるものを提出すること。

⑤ 出身国での連絡先となる保護者の氏名・フリガナ、志願者本人との続柄、住所・電話番号を記入する。

⑥ 日本における連絡先となる者の氏名・フリガナ、志願者本人との関係、住所・電話番号、勤務先名称、勤務先住所・電話番号を記入する。

⑦ 日本での学生生活を送るにあたり、志願者本人の学費および生活費を負担する者の氏名・フリガナ、志願者本人との関係、住所・電話番号、勤務先名称、勤務先住所・電話番号を必ず記入する。
※学費および生活費負担者に自筆の署名をしてもらうこと。
※受験者本人が負担する場合は、受験者本人が署名すること。

⑧ 家族の氏名（カタカナ）、続柄、年齢、職業を記入する。

| | | | | | |
|---|--|-----------------------------|--------------------------------|-----|------------|
| 2026年度 国際医療福祉大学大学院 医学研究科 | | 様式2 | | | |
| 留学生個人票 | | *大学院使用欄（記入不要） | | | |
| | | 受験番号 | * | | |
| ※留学生は日本語で記入の上、必ず提出のこと | | | | | |
| ① 課程・専攻 分野・領域 | 1. 博士課程 医学専攻 | 国際保健・感染症学 | 性別 男 | | |
| | 2. 専門職学位課程 公衆衛生学専攻 | | 国籍 中国 | | |
| ③ 氏名 | 姓 (FAMILY NAME) ※パスポート上での表記にて大文字で記入 | 名 (FIRST NAME, MIDDLE NAME) | | | |
| | LI | ZHIMING | | | |
| | カタカナ リ | シメイ | | | |
| | 漢字 李 | 志明 | | | |
| ④ 現在の在留資格（国内在住者のみ） ※該当するものを○で囲む | | 留学・就労・短期滞在・その他（ ） | | | |
| 【保護者】 | | | | | |
| ⑤ 氏名 | フリガナ リ ショウ | 住所 | 〒3000000 中国 福建省福州市△△区 00 号 | | |
| | 李 翔 続柄（ 父 ） | | TEL: 86 - XXXX - 0000000 | | |
| 【日本国内の緊急連絡先】 | | | | | |
| ⑥ 氏名 | フリガナ コップク タロウ | 住所 | 〒324 - 0000 栃木県大田原市〇〇町 1234 | | |
| | 国福 太郎 志願者との関係（ 知人 ） | | TEL: 0287 - 24 - 0000 | | |
| 勤務先 | 株式会社△△商事 | 勤務先住所 | 〒324 - 9999 栃木県宇都宮市××町 9876 | | |
| | | | TEL: 028 - 123 - 0000 | | |
| 【学費および生活費負担者】 ※志願者本人が負担する場合は、志願者本人が署名してください。 | | | | | |
| ⑦ 氏名 | フリガナ リ ショウ | 住所 | 〒3000000 中国 福建省福州市△△区 00 号 | | |
| | 李 翔 志願者との関係（ 父 ） | | TEL: 86 - XXXX - 0000000 | | |
| 勤務先 | △△△有限公司 | 勤務先住所 | 〒3000000 中国 福建省福州市××区 00 号 | | |
| | | | TEL: 86 - △△△△ - XXXXXXX | | |
| 上記志願者が貴大学院に入学した際は、学費および生活費等について私が責任を持って負担します。 | | | | | |
| 氏名 李 翔 | | | | | |
| 【家族状況】 | | | | | |
| ⑧ 氏名 (カタカナ) | | 続柄 | 年齢 | 職業 | 備考 |
| リ ショウ | | 父 | 55 | 会社員 | △△△有限公司 勤務 |
| カク フェイ | | 母 | 48 | 主婦 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

それぞれのキャンパスによって受講環境は異なります。
 受講上の注意事項などをあらかじめ各キャンパスの事務担当者にお問い合わせください。

<栃木県> **大田原キャンパス**

所在地：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
 電話：0287-24-3729 F A X：0287-20-2059
 E - m a i l：otawara.s.c@ihwg.jp

アクセス：
 ・東北新幹線・JR東北本線「那須塩原駅」東口からスクールバス（所要時間約20分）。または大田原市営バス「国際医療福祉大学」下車（所要時間約40分）
 ・JR東北本線「西那須野駅」東口から東野バス「国際医療福祉大学」下車（所要時間約25分）
 ・東北自動車道 西那須野塩原I.C.から車で約30分
 黒磯板室I.C.から車で約30分

<千葉県> **成田キャンパス**

所在地：〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3
 電話：0476-20-7703 F A X：0476-28-1159
 E - m a i l：narita.s.c@ihwg.jp

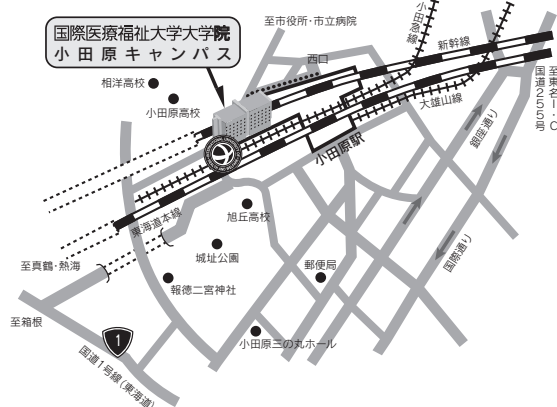
アクセス：京成本線「公津の杜駅」から徒歩1分

<東京都> **東京赤坂キャンパス**

所在地：〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26
 電話：03-5574-3900 F A X：03-5574-3901
 E - m a i l：tokyo.s.c@ihwg.jp

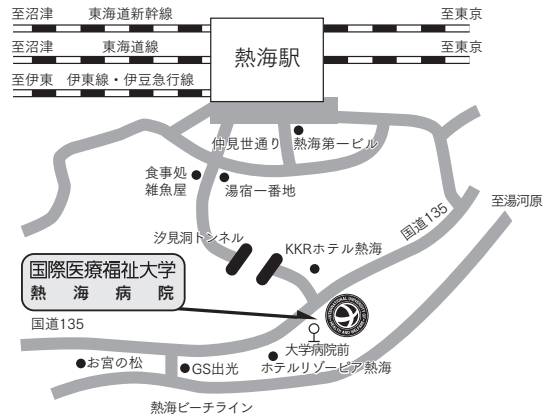
アクセス：東京メトロ銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出入口から徒歩3分

<神奈川県> 小田原キャンパス



所在地：〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25
 電話：0465-21-6500 F A X：0465-21-6501
 E - m a i l：odawara.s.c@ihwg.jp
 アクセス：東海道新幹線・JR 東海道線・小田急線・箱根登山鉄道・大雄山線「小田原駅」西口から徒歩3分

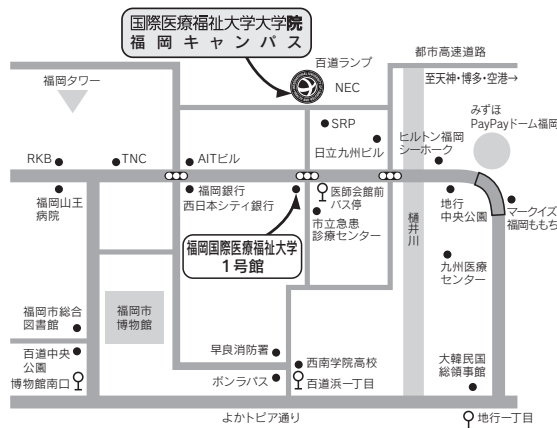
<静岡県> 熱海キャンパス



所在地：〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1
 国際医療福祉大学熱海病院内
 電話：大学院事務室直通／電話：0557-81-9197
 病院代表／電話：0557-81-9171 FAX：0557-83-6632
 E - m a i l：atami.s.c@ihwg.jp
 アクセス：JR「熱海駅」下車 徒歩8分
 またはバス「大学病院前」下車

・小田原キャンパスでの受講希望者は一部授業については熱海キャンパスで、また熱海キャンパス受講希望者は一部授業については小田原キャンパスでの受講となる場合もあります。

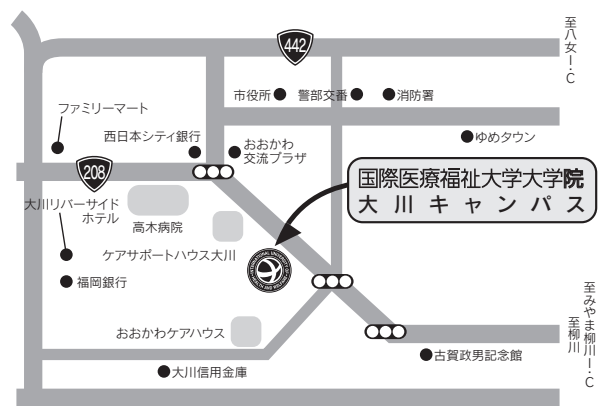
<福岡県> 福岡キャンパス



所在地：〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
 電話：092-407-0434 F A X：092-407-0474
 E - m a i l：fukucamp@ihwg.jp
 アクセス：

- 西鉄バス「医師会館・ソフトリサーチパーク前」下車 徒歩1分
- 地下鉄「西新駅」下車 徒歩15分

<福岡県> 大川キャンパス



所在地：〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
 電話：0944-89-2018 F A X：0944-89-2001
 E - m a i l：oocamp@ihwg.jp
 アクセス：

- 西鉄「柳川駅」下車
 駅前バス停③番のりばから西鉄バス佐賀駅バスセンター行き 乗車(約20分) 国際医療福祉大学前バス停下車
- JR「佐賀駅」下車
 佐賀駅バスセンターから西鉄バス「西鉄 柳川駅行き」乗車(約30分) 国際医療福祉大学前バス停下車

《入学・卒業年度 早見表》

| 生年月日 | | | | 年齢 (満) | 高校 | | 4年制大学 | | 生年月日 | | | | 年齢 (満) | 高校 | | 4年制大学 | |
|----------------|-------|----------------|------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|-------|----------------|------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | | | 入学 | 卒業 | 入学 | 卒業 | | | | | | 入学 | 卒業 | 入学 | 卒業 |
| 平成15年 2003年 | 4月2日～ | 平成16年 2004年 | 4月1日 | 22歳 | 平成31 2019 | 令和4 2022 | 令和4 2022 | 令和8 2026 | 昭和49年 1974年 | 4月2日～ | 昭和50年 1975年 | 4月1日 | 51歳 | 平成2 1990 | 平成5 1993 | 平成5 1993 | 平成9 1997 |
| 平成14年 2002年 | 4月2日～ | 平成15年 2003年 | 4月1日 | 23歳 | 平成30 2018 | 令和3 2021 | 令和3 2021 | 令和7 2025 | 昭和48年 1973年 | 4月2日～ | 昭和49年 1974年 | 4月1日 | 52歳 | 平成元 1989 | 平成4 1992 | 平成4 1992 | 平成8 1996 |
| 平成13年 2001年 | 4月2日～ | 平成14年 2002年 | 4月1日 | 24歳 | 平成29 2017 | 令和2 2020 | 令和2 2020 | 令和6 2024 | 昭和47年 1972年 | 4月2日～ | 昭和48年 1973年 | 4月1日 | 53歳 | 昭和63 1988 | 平成3 1991 | 平成3 1991 | 平成7 1995 |
| 平成12年 2000年 | 4月2日～ | 平成13年 2001年 | 4月1日 | 25歳 | 平成28 2016 | 平成31 2019 | 平成31 2019 | 令和5 2023 | 昭和46年 1971年 | 4月2日～ | 昭和47年 1972年 | 4月1日 | 54歳 | 昭和62 1987 | 平成2 1990 | 平成2 1990 | 平成6 1994 |
| 平成11年 1999年 | 4月2日～ | 平成12年 2000年 | 4月1日 | 26歳 | 平成27 2015 | 平成30 2018 | 平成30 2018 | 令和4 2022 | 昭和45年 1970年 | 4月2日～ | 昭和46年 1971年 | 4月1日 | 55歳 | 昭和61 1986 | 平成元 1989 | 平成元 1989 | 平成5 1993 |
| 平成10年 1998年 | 4月2日～ | 平成11年 1999年 | 4月1日 | 27歳 | 平成26 2014 | 平成29 2017 | 平成29 2017 | 令和3 2021 | 昭和44年 1969年 | 4月2日～ | 昭和45年 1970年 | 4月1日 | 56歳 | 昭和60 1985 | 昭和63 1988 | 昭和63 1988 | 平成4 1992 |
| 平成9年 1997年 | 4月2日～ | 平成10年 1998年 | 4月1日 | 28歳 | 平成25 2013 | 平成28 2016 | 平成28 2016 | 令和2 2020 | 昭和43年 1968年 | 4月2日～ | 昭和44年 1969年 | 4月1日 | 57歳 | 昭和59 1984 | 昭和62 1987 | 昭和62 1987 | 平成3 1991 |
| 平成8年 1996年 | 4月2日～ | 平成9年 1997年 | 4月1日 | 29歳 | 平成24 2012 | 平成27 2015 | 平成27 2015 | 平成31 2019 | 昭和42年 1967年 | 4月2日～ | 昭和43年 1968年 | 4月1日 | 58歳 | 昭和58 1983 | 昭和61 1986 | 昭和61 1986 | 平成2 1990 |
| 平成7年 1995年 | 4月2日～ | 平成8年 1996年 | 4月1日 | 30歳 | 平成23 2011 | 平成26 2014 | 平成26 2014 | 平成30 2018 | 昭和41年 1966年 | 4月2日～ | 昭和42年 1967年 | 4月1日 | 59歳 | 昭和57 1982 | 昭和60 1985 | 昭和60 1985 | 平成元 1989 |
| 平成6年 1994年 | 4月2日～ | 平成7年 1995年 | 4月1日 | 31歳 | 平成22 2010 | 平成25 2013 | 平成25 2013 | 平成29 2017 | 昭和40年 1965年 | 4月2日～ | 昭和41年 1966年 | 4月1日 | 60歳 | 昭和56 1981 | 昭和59 1984 | 昭和59 1984 | 昭和63 1988 |
| 平成5年 1993年 | 4月2日～ | 平成6年 1994年 | 4月1日 | 32歳 | 平成21 2009 | 平成24 2012 | 平成24 2012 | 平成28 2016 | 昭和39年 1964年 | 4月2日～ | 昭和40年 1965年 | 4月1日 | 61歳 | 昭和55 1980 | 昭和58 1983 | 昭和58 1983 | 昭和62 1987 |
| 平成4年 1992年 | 4月2日～ | 平成5年 1993年 | 4月1日 | 33歳 | 平成20 2008 | 平成23 2011 | 平成23 2011 | 平成27 2015 | 昭和38年 1963年 | 4月2日～ | 昭和39年 1964年 | 4月1日 | 62歳 | 昭和54 1979 | 昭和57 1982 | 昭和57 1982 | 昭和61 1986 |
| 平成3年 1991年 | 4月2日～ | 平成4年 1992年 | 4月1日 | 34歳 | 平成19 2007 | 平成22 2010 | 平成22 2010 | 平成26 2014 | 昭和37年 1962年 | 4月2日～ | 昭和38年 1963年 | 4月1日 | 63歳 | 昭和53 1978 | 昭和56 1981 | 昭和56 1981 | 昭和60 1985 |
| 平成2年 1990年 | 4月2日～ | 平成3年 1991年 | 4月1日 | 35歳 | 平成18 2006 | 平成21 2009 | 平成21 2009 | 平成25 2013 | 昭和36年 1961年 | 4月2日～ | 昭和37年 1962年 | 4月1日 | 64歳 | 昭和52 1977 | 昭和55 1980 | 昭和55 1980 | 昭和59 1984 |
| 平成元年 1989年 | 4月2日～ | 平成2年 1990年 | 4月1日 | 36歳 | 平成17 2005 | 平成20 2008 | 平成20 2008 | 平成24 2012 | 昭和35年 1960年 | 4月2日～ | 昭和36年 1961年 | 4月1日 | 65歳 | 昭和51 1976 | 昭和54 1979 | 昭和54 1979 | 昭和58 1983 |
| 昭和63年 1988年 | 4月2日～ | 平成元年 1989年 | 4月1日 | 37歳 | 平成16 2004 | 平成19 2007 | 平成19 2007 | 平成23 2011 | 昭和34年 1959年 | 4月2日～ | 昭和35年 1960年 | 4月1日 | 66歳 | 昭和50 1975 | 昭和53 1978 | 昭和53 1978 | 昭和57 1982 |
| 昭和62年 1987年 | 4月2日～ | 昭和63年 1988年 | 4月1日 | 38歳 | 平成15 2003 | 平成18 2006 | 平成18 2006 | 平成22 2010 | 昭和33年 1958年 | 4月2日～ | 昭和34年 1959年 | 4月1日 | 67歳 | 昭和49 1974 | 昭和52 1977 | 昭和52 1977 | 昭和56 1981 |
| 昭和61年 1986年 | 4月2日～ | 昭和62年 1987年 | 4月1日 | 39歳 | 平成14 2002 | 平成17 2005 | 平成17 2005 | 平成21 2009 | 昭和32年 1957年 | 4月2日～ | 昭和33年 1958年 | 4月1日 | 68歳 | 昭和48 1973 | 昭和51 1976 | 昭和51 1976 | 昭和55 1980 |
| 昭和60年 1985年 | 4月2日～ | 昭和61年 1986年 | 4月1日 | 40歳 | 平成13 2001 | 平成16 2004 | 平成16 2004 | 平成20 2008 | 昭和31年 1956年 | 4月2日～ | 昭和32年 1957年 | 4月1日 | 69歳 | 昭和47 1972 | 昭和50 1975 | 昭和50 1975 | 昭和54 1979 |
| 昭和59年 1984年 | 4月2日～ | 昭和60年 1985年 | 4月1日 | 41歳 | 平成12 2000 | 平成15 2003 | 平成15 2003 | 平成19 2007 | 昭和30年 1955年 | 4月2日～ | 昭和31年 1956年 | 4月1日 | 70歳 | 昭和46 1971 | 昭和49 1974 | 昭和49 1974 | 昭和53 1978 |
| 昭和58年 1983年 | 4月2日～ | 昭和59年 1984年 | 4月1日 | 42歳 | 平成11 1999 | 平成14 2002 | 平成14 2002 | 平成18 2006 | 昭和29年 1954年 | 4月2日～ | 昭和30年 1955年 | 4月1日 | 71歳 | 昭和45 1970 | 昭和48 1973 | 昭和48 1973 | 昭和52 1977 |
| 昭和57年 1982年 | 4月2日～ | 昭和58年 1983年 | 4月1日 | 43歳 | 平成10 1998 | 平成13 2001 | 平成13 2001 | 平成17 2005 | 昭和28年 1953年 | 4月2日～ | 昭和29年 1954年 | 4月1日 | 72歳 | 昭和44 1969 | 昭和47 1972 | 昭和47 1972 | 昭和51 1976 |
| 昭和56年 1981年 | 4月2日～ | 昭和57年 1982年 | 4月1日 | 44歳 | 平成9 1997 | 平成12 2000 | 平成12 2000 | 平成16 2004 | 昭和27年 1952年 | 4月2日～ | 昭和28年 1953年 | 4月1日 | 73歳 | 昭和43 1968 | 昭和46 1971 | 昭和46 1971 | 昭和50 1975 |
| 昭和55年 1980年 | 4月2日～ | 昭和56年 1981年 | 4月1日 | 45歳 | 平成8 1996 | 平成11 1999 | 平成11 1999 | 平成15 2003 | 昭和26年 1951年 | 4月2日～ | 昭和27年 1952年 | 4月1日 | 74歳 | 昭和42 1967 | 昭和45 1970 | 昭和45 1970 | 昭和49 1974 |
| 昭和54年 1979年 | 4月2日～ | 昭和55年 1980年 | 4月1日 | 46歳 | 平成7 1995 | 平成10 1998 | 平成10 1998 | 平成14 2002 | 昭和25年 1950年 | 4月2日～ | 昭和26年 1951年 | 4月1日 | 75歳 | 昭和41 1966 | 昭和44 1969 | 昭和44 1969 | 昭和48 1973 |
| 昭和53年 1978年 | 4月2日～ | 昭和54年 1979年 | 4月1日 | 47歳 | 平成6 1994 | 平成9 1997 | 平成9 1997 | 平成13 2001 | 昭和24年 1949年 | 4月2日～ | 昭和25年 1950年 | 4月1日 | 76歳 | 昭和40 1965 | 昭和43 1968 | 昭和43 1968 | 昭和47 1972 |
| 昭和52年 1977年 | 4月2日～ | 昭和53年 1978年 | 4月1日 | 48歳 | 平成5 1993 | 平成8 1996 | 平成8 1996 | 平成12 2000 | 昭和23年 1948年 | 4月2日～ | 昭和24年 1949年 | 4月1日 | 77歳 | 昭和39 1964 | 昭和42 1967 | 昭和42 1967 | 昭和46 1971 |
| 昭和51年 1976年 | 4月2日～ | 昭和52年 1977年 | 4月1日 | 49歳 | 平成4 1992 | 平成7 1995 | 平成7 1995 | 平成11 1999 | 昭和22年 1947年 | 4月2日～ | 昭和23年 1948年 | 4月1日 | 78歳 | 昭和38 1963 | 昭和41 1966 | 昭和41 1966 | 昭和45 1970 |
| 昭和50年 1975年 | 4月2日～ | 昭和51年 1976年 | 4月1日 | 50歳 | 平成3 1991 | 平成6 1994 | 平成6 1994 | 平成10 1998 | 昭和21年 1946年 | 4月2日～ | 昭和22年 1947年 | 4月1日 | 79歳 | 昭和37 1962 | 昭和40 1965 | 昭和40 1965 | 昭和44 1969 |



国際医療福祉大学

○履修に関するお問い合わせは、下記キャンパスまで

【東京赤坂キャンパス】

〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26

TEL. 03-5574-3900 FAX. 03-5574-3901

○入試に関するお問い合わせは、東京赤坂キャンパス入試事務室まで

TEL.03-5574-3903 FAX.03-5574-3901

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

ホームページ <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>